

◆埼玉県ネットトラブル注意報

平成 27 年 6 月号

「無料通話アプリの『既読機能』をめぐるトラブルについて」

LINE やカカオトークといった無料通話アプリには、「既読機能」と呼ばれるものがあります。この機能は、相手にメッセージが伝わったことを確認できる便利なものですが、トラブルの原因になってしまうこともあります。

【無料通話アプリでのやりとりが原因になったトラブル】

昨年 6 月、男子高校生 2 人が、中学生時代の同級生に対して暴行を加えけがを負わせる事件がありました。

また、平成 25 年の 9 月には、男子高校生ら 4 人が、他の高校に通う 男子生徒に暴行を加えた後、両足を縛って川に突き落とすという事件も起こっています。

これらの事件は、いずれも LINE の既読機能をめぐるトラブルで、被害生徒からの返信がなかったことに腹を立てた加害生徒が本人を呼び出し、犯行に及んだものです。

【「既読無視」に対する児童生徒の捉え方】

無料通話アプリを使ったやりとりはリアルタイム性が高いため、メッセージを読んだらすぐに返信をするものだと思います。なかには、「メッセージを読んだら〇分以内に返信をしなくてはいけない」といった独自のルールを作っていることもあります。

また、メッセージを読んだのに返信をしないことを「既読無視（既読スルー）」と呼び、重大なルール違反と考えている児童生徒もいます。そのため、ルールに違反した人物に対しては厳しい対応をすることがあり、人間関係の悪化や、場合によってはいじめや金銭強要、暴力行為などのトラブルにつながっていくケースもあります。

【学校全体での指導が重要】

「既読機能」をめぐるトラブルは、お互いが同じように注意してやりとりを行わなくては防ぐことができません。そのため、個別にではなく、学校全体で指導を行い、メッセージを送った相手に返信を強要したり、返信がないことで相手を非難したりせず、相手の都合を考えながら思いやりをもってやりとりを行わなくてはいけない、ということを理解させることが大切です。

そのうえで、児童生徒自身にも無料通話アプリの利用の仕方について改めて考えさせることも大切です。児童生徒の話し合いの場を設け、安全利用のためのルールづくりなどを行い、児童生徒自身が日頃から適切な利用をこころがけるよう、意識づけをしていくことが重要です。

埼玉県教育局県立学校部生徒指導課